



「うまく釣れるかな？」

8月17日にみはらし台児童館で行われた、みはらし児童クラブ・げんきクラブ・風の子クラブ合同の夏まつりでの一コマです。ヨーヨー釣りやくじ屋さん、輪投げ屋さんなどたくさんのお店が用意され、子どもたちが店番とお客さんを交代で楽しみました。

Public relations magazine

2010.9 No.673

てしかが

主な内容

- 10月1日は国勢調査……………②
- 摩周湖環境保全と地域を考える……………④
- 「弟子屈2 daysエコパスポート」を販売中です……………⑥
- 9月1日は防災の日……………⑦
- まちづくり町民会議の委員を募集します……………⑧
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………⑩

むかしむか史 (239)

てしかが歴史写真館 113



写真提供…石川悟氏

がいがいぼく
釧路川の障害木除去作業

はげしく降りつづいた雨が、釧路川の濁流の水かさをまし、川上で、根こそぎになって押し流されてきた、根のついたままの大木が、テリたちの家の近くにひっかかり、水の流をかえてしまい、がばがば、がばと、川岸の土崖をくずし…。(略)

更科源藏著『父母の原野』から

河川の流を制御していなかった時代の釧路川は、流れの方向を自由に変えるように蛇行して流れていて、また、長雨の度に大暴れをしました。写真には、

障害木除去作業
河川保護組合仁田支部
昭和10年3月17日

と書いてあって、冒頭の一文のようなことが前の年の秋にあったのでしょうか。釧路川に合流する銚別川は、アイヌ語の「トウベツ」から付けられています。石狩地方にある当別「二つになる川」という意味とはまったく別で、弟子屈の「トウベツ」は『倍になる川』。雨が降った後は、川幅が数倍になる川の意味といわれています。

銚別川の水が釧路川と合わさった下流では、その破壊力は倍から数倍になり、写真にあるような大木も上流から運ばれてくるのです。この障害物を除去しておかないと、増水した川が流れを変え、一晩で畑が川の中になってしまうことも度々あったのです。

雪解け水で川が増水する前に、次の大雨に備えて、部落の人たち総出の作業となりました。

てしかが郷土研究会(松橋)

てしかが 2010.9

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ㊟482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています